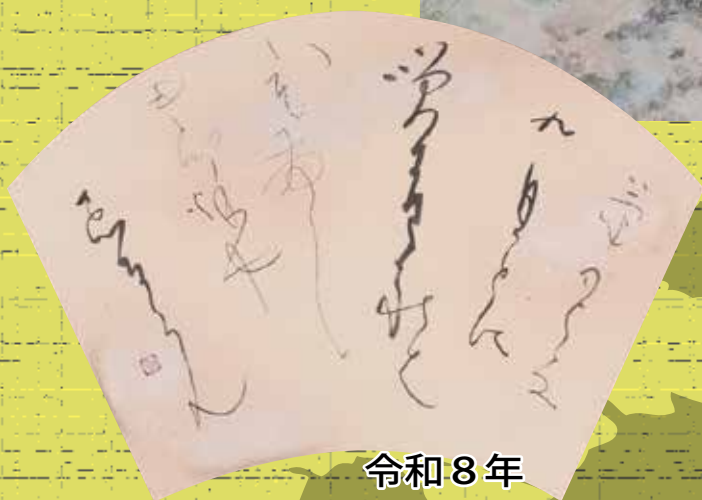


墨と総社

彩画
セレクション展



令和8年

令和9年

10月31日土 - 3月7日日

9:00~17:00

(入館は午後4時30分まで)
入館無料

休館日 月曜日、12月29日~1月8日(年末年始と展示替えのため)



主催 総社市
CATそうじゃ(公益財団法人 総社市文化振興財団)
後援 総社市文化協会



総社吉備路文化館

備中国分寺の北側駐車場から東方向に徒歩で約10分
岡山県総社市上林1252 ☎0866-93-2219

館名 文化勲章受章者 高木聖鶴氏 揮毫

「墨」。このキーワードで総社といえば、まず思い浮かぶのが、柱に縛られ涙でネズミの絵を描いたという逸話が伝わり、国宝6点を誇る「画聖」雪舟でしょう。

総社市は水墨画を大成させた雪舟の偉業と足跡を顕彰し平成8年、墨彩画を大成させる第二の雪舟の誕生をと「雪舟の里総社 墨彩画公募展」を創設。墨彩画とは、水墨画の枠にとらわれず、自由な発想や技法、幅広い色使いで描かれる絵画です。隔年開催による全8回の公募展で、雪舟大賞の作品をはじめ、多くのすばらしい作品を所蔵することもできました。

回を重ねるごとに墨彩画に対する出品者の意識は高まり、作者の体感や体験に由来する心象風景が象徴的な美しさをもって描かれました。当時、審査員は「日本画の究極の表現方法は、やはり水墨だと思ふ。絵というものは、作家が夢想した世界を具現化することに尽きると思う。そういう象徴の世界、あるいは夢想化された世界が表現されている」と評しました。

雪舟大賞受賞者はその後も、公募展での入賞や個展の開催などそれぞれに活躍。本展で作品展示する長原勲（第7回雪舟大賞）もその一人です。

さらに総社は、2人の偉大な書家を生みました。日本や中国の古筆を研究し、リズムカルで繊細、気品漂う優雅な書の数々の作品を多数残した文化勲章受章の高木聖鶴。そして、その長男で、黒と白のコントラストに力強い筆致、得意とする篆書で魅せる書を追求する文化功労者の高木聖雨です。

絵となり書となり、何かを知らしめるために使われてきた墨は、総社の誇るべきものを語るうえで欠かせません。



「松風」井原 木古（通期）

墨彩画 と総社 セレクション展



「Afterimage III」長原 勲（通期）



「みつばちの羽音」真鍋 修（後期）



「連 (つらなり)」河村 篤（前期）

イベント

●単色絵画ワークショップ

令和8年11月28日（土） 午前9時30分から
定員10人（小学生対象、先着順）。10月31日（土）の午前10時、右のQRコードで受付開始



●長原勲ギャラリートーク

令和9年1月30日（土） 午後1時30分から
展示作品の紹介や墨彩画について。事前申込不要



総社吉備路文化館

◎アクセス

吉備路風上記の丘県営北駐車場（総社市上林1112付近）から歩いて約10分。駐車場までのアクセスは次のとおりです。

◆電車まで… JR伯備線、JR桃太郎線、井原鉄道「総社駅」からタクシーで約15分

◆車で……岡山自動車道 岡山総社 ICから約15分 / 山陽自動車道 倉敷 ICから約15分

※カーナビをご利用の場合は、「吉備路風上記の丘県営北駐車場」を目的地に設定してください。「総社吉備路文化館」を目的地に設定すると、狭い道を案内される場合がございます。駐車場からは案内看板にしたがって徒歩でお越しください。



ホームページ



X (旧 Twitter)



Facebook